

## 山梨県民に自然災害への経済的な備えを啓発

～県の後援を得て降雪シーズン前にチラシ2万部を配布～

日本損害保険協会 関東支部 山梨損保会（会長：梶山 治哉・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 山梨支店長）では、山梨県損害保険代理店協会・山梨県自動車販売店協会・日本自動車連盟山梨支部と当会の連名で山梨県の後援を得て、自然災害に対する経済的な備えとしての保険への加入を促進するチラシ（A4版・両面カラー）2万部作成し、山梨県民に周知します。

近年、全国各地で地震・台風・大雨・雪害等の自然災害が度々発生しています。自然災害があまり多くないと思われる山梨県ですが、過去には大きな被害をもたらす災害も起きています。2014年2月には甲府市甲府で114cmの積雪を記録し、富士川町、道志村、西桂町で避難勧告が発令されました。この災害では、雪の重みで民家のカーポートが潰れるなど、自動車にも被害が多く発生したことから、県民にも車両保険の必要性が認識されました。しかしながら、現在、山梨県の2022年3月末の車両保険加入率（※）は、33.3%と、全国平均の46.5%よりかなり低い状況です。このような状況を踏まえ、県民に損害保険の必要性を再認識してもらうことを目的として、作成しました。

本チラシは、これから降雪の季節を迎えるにあたり、雪災や近年各地で多発している風水災リスク・地震リスクについても学び、備えるための役立つ知識を掲載しています。

自らの命と財産を守るための必要な備えについての情報もお知らせしています。本チラシは山梨県や上述の団体と連携し、県民に広く周知します。

当支部では引き続き、自治体や関係団体と連携し、防災・減災について取り組んでまいります。

（※）出典：損害保険料率機構「2022年度自動車保険の概況」



チラシをPRする梶山損保会長

年	自然災害	被害概要
1976年6月	地震	関東地方を襲った大規模な地震。山梨県内でも被害発生。死者12人、重傷者121人、軽傷者1,211人。被害総額約1,500億円。
1983年8月	地震	山梨県内を中心に12市町村で被害。特に大井町市で被害が深刻。死者1人、重傷者1人、軽傷者10人。被害総額約3,000万円。
1996年9月	地震	山梨県内を中心に14市町村で被害。死者3人、重傷者3人、軽傷者150人。被害総額約1,500億円。
2000年9月	水害	平成12年台風第14号。山梨県内でも被害発生。死者1人、重傷者1人、軽傷者10人。被害総額約1,000万円。
2014年2月	大雪	14年2月の大雪。山梨県内でも被害発生。死者1人、重傷者1人、軽傷者10人。被害総額約1,000万円。

チラシ表

\* 以下 URL からチラシ（PDF）をダウンロードいただけます。

[https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kanto/2023/pdf/2311\\_2\\_chirashi.pdf](https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kanto/2023/pdf/2311_2_chirashi.pdf)